

ご存知ですか？「一時集合場所」

一時集合場所は、大きな災害が起こった時に、避難所や避難場所へ避難するために一時的に集まる場所です。

町会・自治会単位で場所が指定されており、市民消防隊の器具庫などが設置されているところもあります。もしもの時に頼りになる一時集合場所。皆さんの一時集合場所はどこなのか、どんな施設が整備されているか確認してみませんか。



大森中川端児童公園は、川端自治会の一時集合場所です。



100トンの防火水槽が広場に埋められています。



川端自治会の消防隊のポンプ格納庫も設置されています。

◆避難の基本的な流れ（状況によって変わる場合があります）



編集後記

このニュースは、防災まちづくりの会の目的とする「自らのまちは自ら守る」を実現させるために発行しています。
いざという時に助け合えるまちづくりは、産業化・都市化した現在ではたやすいことではありません。
でも、多くの方々にこのニュースを読んで頂き、関心をもっていたければ大きな希望となることでしょう。(八)

**大森中・蒲田・荏谷地区
防災まちづくりの会 構成団体**

左記の団体からの代表と公募住民の47名の会員で活動しています。

東蒲田二丁目自治会	大森第一小学校PTA
大森山登自治会	北荏谷小学校PTA
大森町自治会	荏谷小学校PTA
本宿町会	東蒲田小学校PTA
大森町之内自治会	南蒲田小学校PTA
北荏谷一丁目町会	大森東中学校PTA
西荏谷二丁目町会	大森中学校PTA
西荏谷三丁目町会	東蒲田中学校PTA
西荏谷四丁目町会	公翠住民
大島居中央町会	
東蒲田一丁目自治会	
東蒲田二丁目町会	

大森中・蒲田・荏谷地区 防災まちづくりニュース NO.10

平成15年3月

大森中地区 防災生活圏促進事業
編集：大森中・蒲田・荏谷地区防災まちづくりの会
発行：大田区 まちづくり推進部 まちづくり課 TEL.5744-1338

防災まちづくりフェアを開催しました

昨年11月24日（日）に、当会主催による3回目の「大森中・蒲田・荏谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。当日は、雨も心配される寒い日でしたが、200名以上のかたに参加いただき、会の活動報告、備蓄食品クッキング、バケツリレーなどの体験などを行うことができました。

◆屋内での内容



地区の歴史を振り返りながら、会の活動経過を紹介しました。



児童館を通じて、約90人の子ども達に防災まちづくりポスターを届けていただきました。



来場者アンケートから

- ・基本的には地震の際には火災を起こさないことが大切なことだと思う。電気、ガスの元栓をしっかり閉めるだけでも、火災等の減少になると思う。
- ・乾パンなど、今まで食べたことのなかった非常食が、あそこまでおいしく食べられることを知ってびっくりした。
- ・バケツリレーの競争、クッキング、投てき水バツクの使い方など、児童による体験を中心にすることも必要だと感じた。



乾燥もちを使った「もちビッツア」など、備蓄食品の料理は大変人気がありました。

◆屋外での内容



蒲田少年消防団の協力による消防服を着ての消火器体験は、楽しみながら体験ができたようです。



大森山谷自治会と大森町自治会の協力で、バケツリレーとアメタンカーによる放水体験が行われました。



昨年に引き続き行った「投てき水バクによる消火体験」。うまく当たらずになかなか消えない子もいました。

我が家でできる防災対策（その④）

◆備蓄食品の賞味期限を確認しますか◆

大きな災害が起こった時、救援物資が届くまでには3日ほどかかると言われています。そのため、家庭でも備蓄食品を蓄えておく必要があります。その備蓄食品にも賞味期限があり、定期的に食して、入替える必要があります。

昨年11月に行った「第3回防災まちづくりフェア」では、乾パン、乾燥もち、アルファ化米の備蓄食品の変わった食べ方を紹介し、大変好評でした。ここで、そのうち乾パン料理のレシピを紹介します。みなさんもご家庭で試してみたいはいかがでしょうか？



フライパンひとつで手軽につくれます

フレンチ乾パン（乾パンのフレンチトースト風）

材 料：大田区乾パン1パック、牛乳1/2カップ、たまご1個、砂糖適量、バター適量

つくりかた：

1. ボールに牛乳、溶き卵、砂糖を混ぜて乾パンを15分以上浸します。（乾パンは水分を吸いにくいので、30分くらい浸したほうが良いです）
2. フライパンを熱し、バターを溶かしてボールから取り出した乾パンを弱火で両面に焦げ目が付くまで焼きます。
3. 皿に盛りつけ、お好みでシロップをかけてできあがり。

志茂地区に行ってきました



2月1日（土）の午後、北区志茂地区（営団地下鉄南北線志茂駅周辺）へ防災先進地視察会に出かけました。当日は、晴天のもと寒い一日でしたが、当会員12名のかたが参加しました。

今回は電車での移動であったため、交通渋滞に巻き込まれることもなく、時間をかけた視察会となりました。

現地では、自治会館で、まず防災まちづくり活動をされている「ほうけん会」会員の住民の皆さん、北区の職員、から自治会館をお借りして、「ほうけん会」お話を聞きました。その後、道路が拡幅された場所、電柱がとの懇談を行いました。

撤去・移設された場所、住民の話し合いによって計画された「岩淵かっぱ広場」などを案内いただきました。

お話のなか、「児童館と一緒にウォークラリーを行ったことで、子どもに防災まちづくりの関心を持ってもらえた」、「駅にまちづくりニュースを置かせてもらっている」など実際に活動されたことを紹介していただき、今後、大森中・蒲田・桃谷地区での活動を考える参考になりました。



川の上にそのままフタをした形で道路となり、歩きにくかった部分が改善されたところを見学しました。

視察に対する本会員の主な感想

- ・ほうけん会または区の人々が、視察に対して熱心に対応していただけて良かった。やはり他地区の視察は勉強になり良かった。
- ・初めての視察会だったので、全てが勉強になり良かったです。悩みは同じであったり、地域性というものもとても反映されるものだとわかりました。
- ・ガードパイプ、児童館、地下鉄の駅への取り組み姿勢、参考になりました。
- ・わがまちでできることをじっくり検討していくことが大事だと感じました。
- ・この会に入らなければ、わからないことが沢山あり、それをまわりの知らない方々に広く示す努力が永遠のテーマのように思われます。



岩淵かっぱ広場には非常時にトイレとして利用できる物置がありました。



岩淵かっぱ広場で記念撮影

志茂地区はこんなところですよ！

今回視察した志茂地区は、大森中・蒲田・桃谷地区と同じ、都の防災生活圏促進事業により「逃げないすむまちづくり」活動が進められている地区です。

水路敷を利用して整備された入り組んだ道路が多く、広場が少ないことなどが課題となっています。

町会役員、公募住民などで構成される「ほうけん会」では、役員会と3つの部会（道路部会、ひろば部会、広報部会）を設けて、活動を行っています。